

# 台湾茶NOW

2012年6月 第9号(夏)



## FOODEX JAPAN 2012の活動報告書

今年も、毎年恒例のFOODEX JAPANが3月6日～9日の4日間のスケジュールで幕張メッセで開催されました。台湾ブースに出展した茶葉メーカーは、久順茶業、儒昌茶行、明山茶業、品香茶業、宏益製茶、台湾一炮紅茶業等、合計6社で、それぞれ様々な方法で自社ブランドの売り込みに力を入れました。

台湾区製茶工業同業公会では、今年も初日に「台湾名茶発表会」を実施し、許正清理事長や黄正敏顧問らが台湾の代表的な茶葉を紹介しながら、近年の台湾茶の生産及び販売傾向などについて講演を行いました。今回は来賓として台湾經濟部の駐日代表処の林栄貴秘書、農業委員会の載徳芳簡任技正、そして農糧署の莊組長らも参加し、更に来場者は100名以上と、大変な盛り上がりを見せました。講演内容には、台湾の四種類の烏龍茶の違い、台湾茶の近況、輸出量の変化と傾向、台湾と中国間でのECFA締結後の運営、及び今後の傾向分析や紅茶の新品種「紅玉」の紹介等で、来場者には台湾茶の紹介DVDや特色茶葉のティーバッグが贈呈されました。

今回は、当協会が会費制度を廃止して初めて公の場でのイベント参加となり、恒例となっていたステージでの演出は行われなかったものの、ブースではFOODEX JAPAN限定で茶商でも扱うことの出来ない程極上の「阿里山金萱茶」を低価格で頒布し、その結果、4日間でおおよそ60名の新規会員が増えました。会員登録が無料となった為、台湾茶を更に身近に感じて頂くことが出来、「台湾茶大好き会員」の名の下、その時期にしかない特徴ある台湾茶を味わっていただきたいと思っています。

※FOODEX JAPANで100個限定で先行頒布した茶葉も、冷蔵庫保存をしてある在庫が僅かながらありますので、今月中に当協会頒布会場にて再販致します。